

お茶に関する歴史的な史跡

宇治田原町 UJITAWARA-CHO

永谷宗円生家

「青製煎茶製法(あおせいせんちゃせいほう)」を開発・普及し、日本緑茶の製法の基礎を築いた永谷宗円(ながたにそうえん)の生家。往時は、母屋の他に製茶や農作業に必要な作業場や倉庫を備えた大規模な屋敷で、敷地は隣接する茶宗明神社横にまで及び、今も一部残る石垣などにその名残をとどめています。現在の家屋はその屋敷跡に再建されたもので、内部には焙炉(ほいろ)の跡や茶櫃等の道具が保存されており、映像で永谷宗円の足跡や緑茶製法の今昔を学ぶことができます。

内部見学は、原則土・日・祝日のみ可能。平日の内部見学やボランティアガイドについては要問合せ
宇治田原町産業観光課
TEL: 0774-88-6638



茶宗明神社

永谷宗円の功績を称え「茶宗明神」として大神宮社(だいじんぐうしゃ)に合祀したもの。春と秋に大祭が開かれ、全国の茶業者の崇敬を集めます。谷の奥にひっそり佇み、苔むした石積みや、秋の紅葉も絵になります。



さらに詳しい情報は
こちらへアクセス



八幡市 YAWATA-SHI

松花堂庭園・美術館 草庵茶室「松花堂」

江戸時代初期、石清水八幡宮の社僧であった松花堂昭乗が建てた茶室で、松花堂庭園内にあります。「寛永の三筆」の一人にも称せられ、当時を代表する文化人であった昭乗は、書・画・茶の湯・和歌に優れた才能を発揮し、数多くの芸術作品を遺しています。

ミュージアムショップ「おみなえし」にて、地元産の抹茶や緑茶を販売しております。

交通：京阪電車「八幡市駅」または「樟葉駅」からバス約15分、「大芝・松花堂前」停留所下車すぐ



泰勝寺

松花堂昭乗ゆかりの寺で、昭乗の墓をはじめ、宝物館や茶席などがあります。茶席の「閑雲軒」は日本百席の一つに数えられています。

お問い合わせ：075-981-0056

公開日：月1回

拝観時間：10:00～15:00(予約要)

拝観料：500円



さらに詳しい情報は
こちらへアクセス

